

## 施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 4 - (2)

政策体系	施策名	広域交通ネットワークの整備推進	所管部局名	土木建築部、企画振興部	長期総合計画頁	163
	政策名	「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実	関係部局名	土木建築部、企画振興部		

### 【 . 主な取り組み】

取組			
取組項目	広域道路交通網の整備推進	東九州新幹線整備等鉄道の高速度の促進	広域交通ネットワークの強靱化の推進

### 【 . 目標指標】

指 標	関連する取組	基準値		29年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合(%)		H26	73	74	74	100%	76	78						

### 【 . 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
達成	庄の原佐野線(元町・下郡工区)や三重新殿線(内田工区)等の開通により、大分市中心部までの所要時間を改善した。	達成

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中九州横断道路「朝地～竹田間」の早期完成、「竹田～阿蘇間」の早期事業化及び中津日田道路「三光本耶馬溪道路」の整備推進、「耶馬溪道路」「日田山国道路」の整備支援について国への要望活動を引き続き実施した。</li> <li>・中津日田道路のうち耶馬溪道路では用地取得を完了するなど整備促進に取り組んだ。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、沿線市町などで構成する日豊本線高速・複線化大分県期成同盟会において、日豊本線の高速・複線化について国、JR九州に対し要望を行った。</li> <li>・東九州新幹線の整備計画路線への格上げに向けて県民機運醸成のためのシンポジウムの開催や国への要望を行った。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道387号下笠橋など緊急輸送道路上の橋梁を対象として、落橋を防ぐ耐震対策を実施した。</li> <li>・災害時の輸送の代替性を確保するため、東九州自動車道の4車線化に向け、国や関係機関への要望活動を引き続き実施した。</li> </ul>

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	(公)道路改良事業	15,741,638	-	-	241
	道路施設補修事業	10,974,531	-	-	234
	港湾整備事業	1,891,634	-	-	239

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>土木建築委員会への市町村長要望(H29.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域高規格道路「中九州横断道路」の「朝地～竹田間」の早期開通と「竹田～阿蘇間」の早期事業化に配慮をお願いしたい。</li> <li>・地域高規格道路「中津日田道路」の「日田山国道路」の早期工事着手、「耶馬溪道路」・「三光本耶馬溪道路」の早期完成及び、耶馬溪町から山国町間の計画路線の早期事業化をお願いしたい。</li> <li>・東九州自動車道の全線完成に加え、暫定2車線区間の4車線化に向け配慮をお願いしたい。</li> </ul>	<p>大分県商工会議所連合会知事要望(H29.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州横軸や九州の一体的な発展を図るため、地域高規格道路中九州横断道路(竹田～阿蘇間)の早期事業化に特段のご配慮をお願いしたい。</li> <li>・北部九州の産業活性化や地域経済の発展、更には広域観光の振興のため、「中津日田道路」建設促進について特段のご配慮をお願いしたい。</li> <li>・経済5団体「東九州新幹線の早期実現について」の要望(H29.11)</li> <li>・東九州と西九州を一体的に発展し「九州は一つ」の理念を実現するため、東九州新幹線の早期実現について特段の配慮をお願いしたい。</li> </ul>
---	---

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中九州横断道路や中津日田道路などの地域高規格道路は未だ整備途上であることから、人や物の流れを活性化させ、観光や産業を発展させる地域高規格道路の整備を推進する。</li> <li>・東九州自動車道は県内全線開通したものの、暫定2車線区間が多く残り、重大事故の危険性が高く、緊急車両の到着遅延など課題が顕在化しており、4車線化の取組を推進する。</li> <li>・別府湾スマートICのH30年度完成へ向け整備を促進する。</li> </ul>